

九重町

立

南山田小

学校

【学校の教育目標】 地域と繋がり、主体的に学ぶ児童の育成

【育成を目指す資質・能力】 考えを深めるためのコミュニケーション力・挑戦意欲の継続

重点目標	評価	達成指標	評価	重点的取組	取組指標	評価	2学期への改善点
【知識及び技能の習得】 確かな知識と技能を身につけた児童の育成	3	「文中に学習した漢字を正しく使うことができた」という児童アンケートの肯定的な回答80%以上  →96%  達成率120%	4	学校	○ 既習言語の汎用力の育成  ○ 担任は、毎日の3行日記や授業の振り返りで漢字を正しく使って書くように指導し、数の記録をさせる。(知)	3	・1年生は漢字を学習していないので、「漢字やひらがなを使って～」という表現にする。 ・数を記録するだけでなく、誤字を正し、評価・指導まで行う。
				家庭	○ 家庭学習の充実と徹底  ○ 保護者は、毎日、家庭学習の音読を聞く。	3	・音読をすることが読解力の向上につながることを等を、学級通信や懇談会で保護者に繰り返し呼びかける。
				地域			
【思考力、判断力、表現力等の育成】 考えを深めるためのコミュニケーション力の育成	3	「話し合い活動で、友だちの考えに質問したり、自分の言葉で確認したりできた」という児童アンケートの肯定的な回答60%以上  →低学年96% 中・高学年100% 全校98%  達成率163%	4	学校	○ 児童相互のコミュニケーション活動を取り入れた実践  ○ 授業者は、1日に1回以上、友だちの意見に質問したり、自分の言葉で確認する授業実践をする。(知)	2	・コロナ禍における取り組みの難しさがあり、取組めない学年があった。過去の授業資料を活用し、取組めるようにする。 ・児童の机の配置を工夫して、ジグソー法に取組む。
				家庭	○ 親子の時間の充実  ○ 月に1回ノーメディアに取り組む。	4	・学期に1回研修部とともに取り組んでいるので、「月に1回」→「学期に1回」と再設定する。
				地域	○ 地域に学ぶ学習の継続  ○ 学期に1回以上、地域から学ぶ活動や地域に発信する活動を支援する。	4	・引き続き、年間計画に沿って、地域から学ぶ活動を行っていく。
【学びに向かう力、人間性等の涵養】 自己の課題解決に向け、粘り強く挑戦する児童の育成	4	「自分の目標達成のために、粘り強く挑戦した」という児童アンケートの肯定的な回答70%以上  →低学年100% 中・高学年96% 全校98%  達成率140%	4	学校	○ 粘り強さの育成  ○ 人間関係・社会形成力の育成  ○ 児童の課題に応じた元気アップミッションに取組み、毎日、帰りの会で総括する。(体) 一日に1回以上、学校及び家庭で「ありがとう」という実践をする。(徳)	4	・子どもたちが1日1回以上「ありがとう」と言うことができるように、場面づくりや機会づくりを行ったり、子どもたちに意識づけをしたりする。
				家庭	○ 自己肯定感の育成  ○ 保護者は、一日に1回は「勇気が出る言葉」の声かけをする。	2	・学級通信の中で、月に1回保護者の方へ周知する。
				地域	○ 繋がりを尊重する態度  ○ 月に1回以上、登校指導やあいさつ運動を実施する。	4	・引き続き、年間計画に沿って、活動の呼びかけを行う。
【働き方改革の推進】 持続可能な学校環境を創造し、働きがいのある職場を作っていく	3	「効率的な働き方に努めている」という職員アンケートで肯定的な回答70%以上  →100%(60%)  達成率143%	4	学校	○ 効率的な働き方の推進  ○ 定時退庁の声かけを行う。	3	・超過勤務時間を確認しながら、引き続き声かけを行なっていく。
				家庭	○ 学校支援活動の充実  ○ P T A 活動の時間等を19時開始、1時間とする。	4	・引き続き、呼びかけを行う。
				地域			